

3 題材の目標及び題材構想

「私たちの消費行動で社会を変えよう」（6時間完了）

(1) 題材の目標

- ① 消費者一人一人の行動が社会全体の改善や発展につながることを知り，よりよい消費生活を実践しようとする。
(生活や技術への関心・意欲・態度)
- ② 自分や家族の消費生活における問題点を見つけ，その解決を目指して工夫することができる。
(生活を工夫し創造する能力)
- ③ 販売方法や支払い方法の特徴を知り，生活に必要な物資やサービスを適切に選択，購入及び活用ができる。
(生活の技能)
- ④ 家庭生活における消費の重要性に気付き，消費者の基本的な権利と責任について理解することができる。
(生活や技術についての知識・理解)

(2) 評価規準

生活や技能への関心・意欲・態度 …【関】	消費者一人一人の行動が社会全体の改善や発展につながることを知り，よりよい消費生活を実践しようとしている。
生活を工夫し創造する能力 …【工】	自分や家族の消費生活における問題点を見つけ，その解決を目指して工夫している。
生活の技能 …【技】	販売方法や支払い方法の特徴を知り，商品の適切な選択や購入及び活用をしている。
生活や技術についての知識・理解 …【知】	家庭生活における消費の重要性に気付き，消費者の基本的な権利と責任について理解している。

(3) 題材構想

段階	各過程のねらい	学 習 活 動	教師の支援・留意点 ☆評価規準
発見	消費生活の仕組みについて考える。	1 消費生活の仕組みについて考えよう。 ・中学生の消費行動を振り返る。 物資…食料品，衣料品，文具 サービス…電気代，通信，教育 ・契約に伴う権利と義務について知る。	・1日の生活の中で消費したものを振り返らせ，自分が消費しているものの多様性に気付かせる。 ・契約は，法律によって保護された約束事であることを確認し，消費者としての自覚を促す。 ☆消費行動に関心をもって，自分や家族の消費生活を振り返ることができたか。 (ワークシート)【関】
確認	販売方法と支払い方法の種類と特徴について考える。	2 どんな購入方法があるか考えよう。 ・販売方法の種類と特徴を知り，利点と問題点を考える。 店舗販売…専門店，スーパー 無店舗販売…通信販売・訪問販売 ・支払い方法の種類と特徴を知る。 前払い 即時払い 後払い	・販売方法にはそれぞれの利点，問題点があることに気付かせ，目的や状況に合った適切な方法を選ぶことの重要性に気付かせる。 ・カードの種類やその機能について確認する。 ☆身近な販売方法と支払い方法に関心を持ち，利点と問題点を考えることができたか。 (ワークシート)【関】

<p>確認</p>	<p>生活情報の収集や活用方法を理解して、商品購入の意思決定のプロセスを考える。</p>	<p>3 商品購入の意思決定のプロセスを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> Needs (必要なもの) と Wants (欲しいもの) の違いを考える。 生活情報を理解する。 <p> 売る側の情報…チラシ, CM, ウェブサイト 買う側の情報…口コミ情報 その他機関からの情報 </p> <ul style="list-style-type: none"> 意思決定のプロセスを理解し、課題に取り組む。 <p> 修学旅行に持っていくカバンを選択, 購入する際の意思決定プロセスを考えよう </p> <ol style="list-style-type: none"> Needs→持ち手が壊れているから Wants→流行遅れだから 生活情報の活用 購入方法と支払い方法の検討 消費行動の評価 	<ul style="list-style-type: none"> 必要なものを吟味し優先順位を考えさせる。 ウェブサイト上の口コミ情報は、信頼できるものかどうかを考えさせる。 商品を選ぶポイントとして、品質、価格、保証、環境への配慮の視点を伝える。 商品購入後の振り返りで、自分自身の満足だけでなく、環境や社会に与える影響も気付かせる。 <p>☆収集した情報を活用して、商品の選択、購入及び活用について考え工夫することができたか。(ワークシート)【工】</p> <p>☆商品の選択、購入及び活用について、必要な情報を収集・整理することができたか。(ワークシート)【技】</p>
<p>追究</p>	<p>身近な消費者トラブルについて考え、予防方法や対応方法を理解する。</p>	<p>4 学んで防ごう、消費者トラブル。</p> <ul style="list-style-type: none"> 消費者トラブルを知る。 <p> 悪質商法によるトラブル 若者に多い消費者トラブル </p> <ul style="list-style-type: none"> 予防方法や対応方法を考え課題に取り組む。 <p> 消費者の失敗から学ぶ消費者トラブル </p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者の行動のどこがいけなかったか ○消費者はこれからどうするとよいか <ul style="list-style-type: none"> 年齢を偽っているところ。 焦って電話をかけたところ。 請求は無視する。 フィルタリングを設定する。 困ったときは消費生活センターに連絡する。 	<ul style="list-style-type: none"> 技術分野で学んだ、情報セキュリティについて確認する。 <p> フィルタリング・データの暗号化 セキュリティ対策ソフトウェア </p> <ul style="list-style-type: none"> 悪質商法の種類や特徴を理解させる。 <p>参考①：消費生活情報あいち暮らし WEB http://www.perf.aichi.jp/kenmin/syohiseika_tsu/</p> <p>参考②：愛知県消費者教育啓発教材 http://www.pref.aichi.jp/0000032843.html</p> <ul style="list-style-type: none"> 情報セキュリティ等の技術面において、トラブルを未然に防ぐことができることに気付かせる。 <p>☆消費者トラブルについて考え、予防方法や対応方法を理解することができたか。(ワークシート)【知】</p> <p>☆消費者トラブルの対応方法について考え、工夫することができたか。(発言, ワークシート)【工】</p>

<p>追 究</p>		<p>5 消費者を守る社会の仕組みを考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悪質商法以外の消費者トラブルを知る。 ・消費者を支える法律や相談機関を知る。 <p>消費者契約法 特定商取引法 国民生活センター 消費生活センター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クーリング・オフ制度について理解し、課題に取り組む。 <p>クーリング・オフのはがきを書いてみよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・通信販売におけるトラブルは、消費者の確認不足から起こることを伝える。 ・商品を購入することは、選ぶ権利があるとともに、責任を伴うことに気付かせる。 ・消費者を守る法律や公的機関があることを理解させる。 ・クーリング・オフによる契約の解除は、文書で通知することや、配達記録が残る郵便を利用することを知らせる。 <p>☆消費者を支える法律や機関の必要性を考え、トラブルの対応方法を理解することができたか。 (ワークシート) 【知】</p>
<p>拡 大</p>	<p>消費者の権利と責任を理解し、消費者としての自覚を高め、よりよい消費生活を考える。</p>	<p>6 私たちの買い物で社会を変えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任について考える。 ・自分にできる消費行動を考え、課題に取り組む。 <p>買い物は投票！私の一票で社会を変える</p> <p>課題 どのチョコレートを選びますか？</p> <p>A 企業のPB商品 B なじみの商品 C フェアトレード商品 D 素材にこだわった商品</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・消費者の権利と責任について、中学生の消費行動と関連付けて考えさせ、消費者としての自覚を高めさせる。 ・よりよい消費を考えさせるために「環境保護」「生産者支援」の視点をもたせる。 <p>☆消費者の権利と責任について関心をもち、よりよい消費行動を考えようとしているか。</p> <p>(ワークシート) 【関】</p>